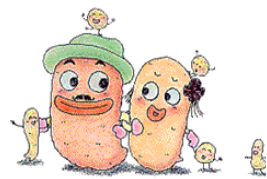


# 湯戸飛夜いけいけだよ



Jinen Joe family

## 発行 西徳山まちづくりの会

### 戸田駅前ビアガーデンを開店

平成29年7月29日(土)の午後、新しく整備された「東屋(あずまや)」近くで、今年も「戸田駅前ビアガーデン」を開店しました。夏の日差しが大変厳しい中、まちづくりの会を中心とした20名程度の参加者が、ビールサーバーを持ち込み十分に冷えたビールを片手に、海鮮バーベキューを楽しみました。毎回大好評の「サザエ壺焼き」が今回も登場し、弾力のある食べごたえに、新鮮さを噛みしめました。また、イカやヤズの切り身、会員が持参した多くの野菜も次々と網焼きされ、「食に満たされた幸せな時間」を参加者全員で共有することができました。

市が昨年度に整備してくれた「東屋」は大変に秀逸で、厳しい日差しを遮り、語らいの場を提供してくれています。木製の温かい雰囲気は、穏やかな時間を感じさせてくれ、この場所でビアガーデンをすることに大変な喜びがありました。併設したテントと東屋で、会員も今後のまちづくりについて日差しに負けずにあつく語ることができました。

今年の秋も、「第2回秋覚祭(しゅうかくさい)」をこの場所で開催する予定です。どなたでも参加可能です。告知のポスターを戸田駅及びソレーネ周南に掲示しますので、ぜひご参加ください。

(村リン)

#### 記事:

- ・ 戸田駅前ビアガーデンを開店
- ・ グループ紹介  
「MIKAダンス・スタジオ」
- ・ ガイド養成てくてくウォーク
- ・ 連載小説  
『涙にぬれた蒼き思いー徳山七土物語ー』第5回
- ・ 花いっぱい運動  
「花育て一緒にしませんか」
- ・ 名所旧跡  
「普春寺(夜市)」
- ・ 今後の行事予定

#### 会員募集中

あなたも「西徳山まちづくりの会」で一緒に活動しませんか。会では、常時、会員を募集しています。



おいしい海鮮料理



東屋で談笑しました



秋覚祭ポスター

## グループ紹介

# 「MIKAダンス・スタジオ」



「足達美加」代表のキッズダンスが、毎週水曜日と土曜日に、湯野公民館で行われています。現在は50名あまりの児童がダンスを習っており、小学1・2年のグループ、3・4年のグループ、5年から高校生までのグループに各1時間ずつ、時間をずらしてきめ細やかな指導を行い、呼ばれた各地のイベントでダンスを披露しています。

代表は元々バレエやエアロビクス、ジャズダンスなどの多くの経験があり、その経験を生かして子供たちにも教えて欲しいと多くの保護者から受けた要望に応え、15年前に湯野公民館で始めたのがダンススタジオのきっかけです。それから現在に至るまで、多くの児童を送り出し、「夢は東京ディズニーランドで活躍するダンサー」という児童も現れ、子供たちが多くの可能性を描くことができるダンススタジオになっています。

教室ではどの児童も目を輝かせ、楽しそうにダンスする姿を見れば、誰もが清々し

さを感じられる活気があります。

最近では、夏の「サンフェスタしんなんよう」、秋の周南市文化会館でのダンス発表、周南地域で活動するジャズバンドの生演奏や和太鼓曲「里囃夢（りずむ）2016」に合わせたダンスなど、積極的な活動展開を行っており、西徳山3地区の児童をはじめ、富田・福川地区、菊川地区からもキッズダンスに憧れて足を運ぶ児童も増え、より一層活躍の場を広げています。

みなさんも、キッズダンスの発表を見れば必ず元気が湧いてくると考えられますので、お近くのイベントに参加している際は、ぜひ足を運んでご覧になってください。  
(村リン)



参加者の皆さん



## ガイド養成てくてくウォーク

平成29年7月29日（土）、会員を対象とした「てくてくガイド養成のためのてくてくウォーク」を開催しました。午前10時に集まった会員5人は夜市公民館を出発し、普春寺、若山観音、鷹飛原八幡宮の3箇所をガイドの練習地を選んでの行程で、1時間30分のウォークでした。

ガイド講習は、各々が現地でガイド原稿

を読み上げての練習です。朗読にさえ詰まってしまう私に、原稿を見ないでガイドできる日がくるのでしょうか・・・

(呑爺)





## 連載小説

# 『涙にぬれた蒼き思いー徳山七士物語ー』 第5回 文 城山 耕柝

(これまでのあらすじ)

1864年6月に京都で起こった池田屋の事件をきっかけとして、長州藩では、藩の復権を直接朝廷に認めてもらうため、萩本藩の毛利元徳や三家老が上京することになった。また、佐幕派や公武合体派の各藩の動きに備えるため、三軍に分けた部隊が京都近くに進軍した。

6月下旬、家老の福原越後が伏見の藩邸に到着し、7月には、同家老の国司信濃、血気盛んな来島又兵衛が嵯峨の天龍寺に、同家老の益田右衛門介、冷静に朝廷工作を行う久坂玄瑞の部隊が山崎天王山に陣を張り、京都を三方から囲む形となった。

連日、御所に長州藩の復権を嘆願する文書を送付するが、宮中の公卿に黙殺され続け、7月19日未明、福原隊が御所に向けて進軍を開始すると、呼応するように国司隊も進軍を始め、佐幕派の大垣・会津・彦根・桑名藩が進軍を阻止しようと動き出した。最後まで朝廷工作を訴え続けた久坂の声は、血気に満ちた軍団の前に、打ち消されてしまった。御所の「蛤御門」あたりで双方の激戦が繰り広げられ、来島又兵衛率いる一団が門を突破、御所の敷地内に長州藩兵が殺到するが、「乾御門」から応援に駆け付けた西郷吉之助率いる近代兵器を持ち込んだ薩摩藩兵が到着すると、大きく形勢が逆転し、来島又兵衛が銃撃で戦死、多くの藩兵がたおれていった。久坂は、入江九一に敗北後の長州を頼むと後を託すと、以前から交流のある鷹司邸で自決して果てた。

しかし、その入江も、御所を出てすぐ、越前藩兵と遭遇し、討ち取られてしまった。吉田松陰の門下生で「四天王（久坂玄瑞、高杉晋作、吉田稔麿、入江九一）」と呼ばれた者は、高杉を残すのみとなった。高杉はこの時期、萩本藩の重臣周布政之助の指示により、脱藩の疑いで野山獄に収監されており、結果として生き残ることとなった。

無傷であった益田隊に福原隊及び国司隊の敗残兵が合流し、長州への帰路につき、わず

か1日で「禁門の変（蛤御門の変）」は終結した。幕府は、7月23日、朝廷から長州追討の勅令を得て、長州藩は「朝敵」となった。

「朝敵」、長州藩にとって最悪の事態に至った。これまで進めていた藩政は全て水泡に帰し、天皇や幕府、全国の藩から追討される立場となり、先の見えない大混乱の中、周布政之助の政敵である棕梨藤太（むくなしとうた）が萩本藩の政治をかじ取りすることとなった。

徳山毛利藩では、京にいた井上唯七や本田久太夫も帰藩し、尊王攘夷思想を標榜する志士たちは、萩本藩の動きに呼応して再び台頭した徳山藩家老野上源次郎の命で、監視下におかれた。

「朝敵となったからには、今後、幕府からどのような無理難題が課されるか分からぬ。いつ、追討軍が幕府から向けられてくるかも分からぬ。藩内全ての情報を、必ず報告しろ」と、野上は徳山藩内に徹底し、危険な志士たちの粛清のため、名簿の作成に取り掛かった。また、自分が危険な志士から襲撃されぬよう、田中一学を常に警護につけ、これまでに経験の無い緊張した空気が藩内に満ちた。

「朝敵」は、長州藩全体から尊王攘夷思想を排除する雰囲気加速させていった。

(以下次号)



## 西徳山まちづくりの会

### 編集後記

今年の夏は、猛暑日が続きました。戸田駅前花壇の水やりも大変だったのではないのでしょうか。しかし、会員や花壇のサポーターの皆さんの熱心なお世話のおかげで、新しく整備された花壇にもマリーゴールドなどが美しく咲きました。

駅前に花を植えて、『花の駅にしよう』というのは、私たちまちづくりの会の大きな目標の一つでもあります。新しい花壇は、今年初めての花の植え付けだったので、まだ土が完全にできていません。よく肥えた土になれば、もっときれいに咲き誇ることでしょう。

ふるさとの駅に降り立った時、美しくしかも温かく迎えてくれる、そんな駅であってほしいものです。

このまちづくりの会のいけいけ便りは、今回で第39号です。いよいよ次は記念すべき40号になります。継続は力なり。よくぞここまでたどり着いたものです。次号はカラー版で、特別企画を組んで、読者の皆さんに感謝の気持ちを表したいと思います。

いけいけ便りと戸田駅前花壇の整備、どちらも未永く続きますように・・・

発行責任者

会長 神本康雅

広報部長 木曾裕子

西徳山まちづくりの会

ホームページURL:

nishitokuyama.web.fc2.com

## 花いっぱい運動

### 「花育て一緒にしませんか」

8月の第四土曜日、まちづくりの3人と、作業を手伝ってくださるUさんの4人で、芝桜の中の草取りをしました。おしゃべりしながらの草取りはあっという間の1時間です。

まちづくりの会では、毎月第2、4土曜日の16時から、戸田駅前花壇の作業をしています（主に草取り）。

あなたの手をお借りしたいです。ちょっと寄ってみてくださいませんか。

これからは、ビオラ、ノースポールの花や、会員Kががんばっているホウキ草。そしてWの一押し、芝桜。戸田駅前をにぎやかにしてくれると思います。（ひろちゃん）



## 名所旧跡

### 「普春寺(夜市)」

夜市伊賀の普春寺は、曹洞宗のお寺で400年余りに建立されました。現在の伽藍は昭和59年に建替えられたものです。現在の住職高木辰紀さんは第15世の和尚で長い歴史が伺える古刹です。

ここの観音堂（若山観音）には 夜市七不思議の一つ「藤かずら」があります。残念ながら昭和55年の大雨で崖が崩れ、藤の大木は失われ、今は2代目の藤かずらが観音堂をお守りしていますが、お寺に飾られた写真が初代藤かずらの在りし日の姿を伝えています。

(呑爺)



初代藤かずら写真

今後の行事予定

### 西徳山まちづくりの会全体会

原則として毎月第1水曜日の19:30から夜市公民館

### 戸田駅前広場周辺の清掃

毎月第2、第4土曜日の16時から、戸田駅前広場の清掃と花壇の手入れを行っています。

お手伝いしていただける方、大歓迎です。

### 映画鑑賞会「そうだ!!昔の映画を見よう！」

原則として毎月第3水曜日の19:00から夜市公民館で開催します。興味のある方、是非おいでください。